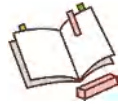




私たちの取り組み



介護付有料老人ホームつくしでは IVH の方や、経鼻栄養の方にも安心して食事を摂取して頂ける様に特に力を入れ、定期的に勉強会を開催し全職員がより専門的な知識・技術の向上を目指しサービスを提供できるように努めております。



勉強会の内容



「新人職員に対する食事の際の声掛け・口腔体操の指導」

目的 適切な食事介助方を学び全職員が同じ食事介助サービスを提供する取り組み。

- 取り組み内容
- ・利用者様の食欲促進に繋がる声掛けの行い方の指導。
 - ・唾液分泌や咀嚼力の向上を目的とした口腔体操の指導。
 - ・日常生活時の利用者様の表情や発語の改善。

「食事介助時の知識・技術の向上」

目的 食事介助の行い方の再確認と、利用者様に「口から食べ物を食べられる喜び」を感じて頂く為の取り組み。

- 取り組み内容
- ・経口摂取による免疫力の UP を目指す。
 - ・食事の際の正しい姿勢を確認・誤嚥の防止。
 - ・食事介助時の基本的な知識・技術の再確認。
 - ・手指に拘縮・麻痺がある方が食事を自己にて食べる為の機能訓練の実施。

「食欲の促進を促す為のメニューの提供」

目的 利用者様の食事摂取量を向上の為の取り組み。

- 取り組み内容
- ・定期的に利用者様が食べたい物の聞き取りを行い可能な限り提供する。
 - ・季節の旬な食材を使用したメニューの提供をする。



私たちの取り組み

介護付き有料老人ホームつくしでは、本人様・ご家族様に相談の上、IVHの方や経鼻栄養の方にも口から食事を摂取して頂けるようなケアを実践しています。
本人様やご家族様からも「口から食べられる喜び」を感じて頂いております。

実例 (1) Aさん(男性83歳)の場合



平成 21年 4月1日入居…入居時IVHにて絶食状態の方。

平成 21年 5月5日～冷凍パイナップルで唾液の分泌を促すアイスマッサージを行う。
5月11日～トロミを付けた牛乳を5口飲まれる。
5月16日～牛乳ゼリーを全量食べられる。
5月26日～チョコレートを少量食べられる。
6月2日～ミキサー食で昼食のみ開始となる。
6月14日～アンパン1個とクラッカー数枚を食べられる。
6月15日～半がゆキザミにて食事提供開始となる。

実例 (2) Bさん(女性99歳)の場合



平成 27年4月2日入居 …入居時IVHにて経口からはお楽しみ程度に摂取。

平成 27年 4月4日～プリン摂取される。
4月14日～トロミを付けたエンシュアリキッドを開始。
4月20日～昼食のみ7分がゆの極キザミ食開始。
4月21日～豚カツが食べたいと訴えあり。娘様を買ってきた
クリームコロッケを食べられる。
4月24日～夕食も開始になり1日2食となる。
4月30日～朝食開始で1日3食開始となる。

実例 (3) Cさん(女性90歳)の場合



平成 28年 6月24日入居…絶食で24時間点滴、胆管ドレナージ留置の方。

平成 28年 7月15日～アイスクリームを職員の誘導にてむせ込みなく食べられる。
7月15日～おやつのゼリーを食べられる。
7月20日～食事開始と共にほぼ間食されていた。
7月25日～自己にてスプーンを持ち食事を食べられる